



さばくではおんどさのおお 砂ばくでは温度差が大きいのはなぜ

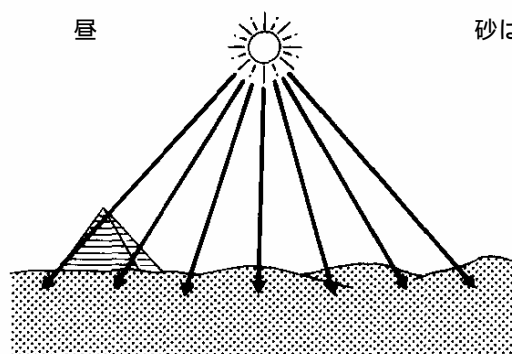
ひるよるきおんさのたいりくせいきこうのおお 昼と夜の気温の差は、大陸性気候よりも大きい

たいりくせいきこうとは、かいようとおのたいりくさいぶきこうにちきおんへんかのおお
大陸性気候とは、海洋から遠くはなれた大陸内部の気候です。一日の気温の変化が大きい
のが特徴です。さばくはいちねんじゅうあめふりかんそうちたいさすな
でなく、モンゴルにあるゴビ砂ばくのように、ほとんどががんせき
砂ばくには、しょくぶつがほとんどありませんから、こかげもありません。そして、はからすいじょうき
を出して、きおんさこうかさをたいりくせいきこうひるよるきおん
差が大きく、平均して20度くらいあります。

くうきかんそうくも 空気が乾燥していて雲ができない

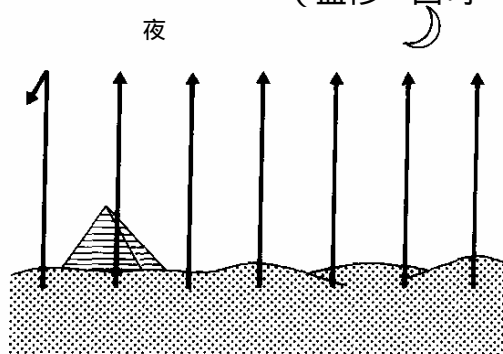
さばくでは、こうきあつてんきくうきかんそうあめふ
砂ばくでは、高気圧におおわれていて天気がよく、空気が乾燥し、ほとんど雨が降りませ
ん。雲ができないので、たいようねつくも
太陽の熱は雲にさえぎられず、ちやくせつじめんきゆうしゅう
直接地面に吸収されます。その上、
じめんすいぶんさひるこうおんよるじめんねつくも
地面には水分がないので、さばくの昼はすぐに高温になります。夜は、地面の熱が雲にさえ
ぎられず、また、みずしょくぶつがねつ
水や植物がないので、熱がたくわられることもなく、ほとんどが大気中
にげてしまいます。それで、ひるよるおんどさのおお
昼と夜の温度差が大きくなります。

(監修・国司 真)



地面は高温になる
太陽の熱は直接地面に吸収される

砂ばくの昼と夜



地面は低温になる
地面の熱はほとんど大気中へにげる

